



No.156

メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

特集	外国人市民の防災 ―楊梓さんに聞く(前編)……1	カレンダー	2020年9月の comm cafe ランチカレンダー……5
紹介	新しい日本語教室がスタート!……3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ……6
紹介	「ロワーハット 最初の庭園都市」……4	巻末	編集後記……8

特集 COVID-19 時代の「多文化共生」(その2)

外国人市民の防災 ―楊梓^{ようし}さんに聞く(前編)

楊さんは「人と防災未来センター」(兵庫県)の主任研究員。中国吉林省出身。当協会の外国人防災リーダープロジェクトの検討委員をお願いしている。外国人市民の防災について、楊さんから現状と課題、今後の方向などについて、8月6日、オンラインでお話を聞いた。

めろん編集部(以下、めろん) 楊さんはどうして防災に興味を持たれたのか、どういう方向へ進めたいとお考えなのかお聞きしたい。

楊 大学3年のときの四川大震災(2008年)で危機管理に興味を持った。修学旅行で東京を訪れた際、日本はこの分野が進んでいると知り、日本への留学を決め、日本語学校を経て横浜国立大学で学んだ。大学入学直前、東日本大震災も経験した。

防災は命に関わる研究。自分がやっていることで本当に人の命を救えるのか、怖くもある。「興味」というより「社会に必要な仕事」だと思って頑張っている。

外国人市民と地域とのつながりで外国人市民防災を考えると、外国人市民は多様で、災害時に彼らすべてが要支援者になるのではなく、逆に地域防災の担い手になる人もいます。そういう人たちをうまく生かすテーマを深めていきたいと思っている。

めろん 災害現場で、外国人市民防災について支援、調査などをされた際に、日本での「外国人市民対象の防災活動での課題」と思われたことは?

楊 これまで大阪(北部地震)、北海道(胆振東部地震)、広島・岡山・愛媛(西日本豪雨)、関東(去年の台風)、そして今年は熊本に行った。人と防災未来センターの仕事(災害対応支援)として入った。個人研究として、大阪、北海道、岡山と熊本において外国人市民への災害対応についても調べた。

多言語での情報発信は、日本は進んでいると思う。中国では多言語表示は英語が中心、多言語対応はあまり考え

(右)芦北町役場内の掲示板に貼られた外国人市民の相談窓口を示したチラシ。下部に10言語の表記がある。
(下)熊本県外国人サポートセンターが配っていたチラシ。



発行・差出人:公益財団法人箕面市国際交流協会(MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp HP: www.mafga.or.jp

賛助会員数: 250 名 法人会員数: 29 団体(2020年8月15日現在)

られていない。日本のように多様な外国人市民へ配慮しようとするところは大事だと思う。ただ、実際の対応は地域差が大きい。

災害時に優先的に考えられているのは高齢者や障害者。外国人市民も避難所に来たら対応してくれるが、避難所に来ない外国人市民については積極的に安否を確認する余裕は行政には少ない。取り残されやすい存在である点は注意すべきである。

めろん 今回の熊本での調査で分かったことは？

楊 今回は7月8日～12日まで熊本にいた。県と熊本市の国際交流協会(国流)で聞き取りをした。今回分かったのは、4年前の熊本地震の経験と教訓が活かされたということ。4年前は、熊本市の国流が中心で取り組んでいたが、今回の7月豪雨では、県の国際課と外国人サポートセンター(県の国流)が各市町村に連絡をとっていて、すごく進んだと感じた。県はHPで多言語情報を発信するとともに、「多言語相談サービスがある」というお知らせチラシを5言語で作って避難所に配っていた。ただ、私が行った時点では外国人市民から問い合わせはきていなかった。熊本市の国流は、県内の多くのコミュニティに問い合わせていたが、人吉市の「FOK(熊本フィリピン人会)」という会の方から、水害で服などで困っている人がいる、との情報が寄せられたという。募金活動をしたり、必要な物資を届けるなど、既に自分たちで解決していた。

今回は3市(八代市、芦北市、水俣市)しか回れなかったが、訪問した避難所にも外国人市民はいなかった。ある市では被害地域の住基台帳をベースに外国籍住民の安否確認をしたとのことだった。

めろん コロナ禍での外国人市民への情報提供についてご意見があれば教えて欲しい。

楊 ポイントは3つある。外国人市民へのコロナ関連情報の提供は、まず「ストック情報」の差異を意識して「フロー情報」を発信する必要がある。「ストック情報」とは個人が既に持っている認識のこと(例えば衛生観念・習慣、コロナをどういうものと思っているか、など)。国や個人で大きく異なる。「フロー情報」は警報、避難情報など時間とともに変わる情報。(註参照)

人は「ストック情報」に基づいて「フロー情報」に対処するので、「ストック情報」の差異を認識して、「フロー情



楊梓さん

報」を出すことが大事。例えば、「避難所に避難してください」と言われても、避難所に行けばコロナが怖いと躊躇する人もいるだろう。コロナは目に見えないので怖い、自分が感染症対策(マスクの着用、距離を保つ、手を洗う)をしっかり取れたら、リスクをある程度抑えることができる。それに対して、災害そのもののリスク(地震や土砂崩れなど)は自分で抑えることができない。できるのは被害を最小限にすることだが、重要なのは「命を守る行動をとる」ことを意識化させること。コロナと災害が重なっても、「いのちを守ること」を最優先に、多様な選択肢(避難所以外に在宅、公園、車中泊避難など)の中から適切な行動を選ぶようにすべきである。

2点目は相談できるツールをいかに確保するか、ということ。感染防止のため直接相談に応じることが難しいので、Zoomなど使える場合は使うが、なかにはアクセスできない人もいる。対面で意見収集できる場をこまめにつくるのも有用だと思う。

3点目は効果的な連携を考えること。これまでの外国人市民防災の枠組みは、防災担当部局と国際課関係組織のつながりだけであったが、コロナ禍では保健所や医療機関などとも連携しないといけないので連携の輪が広がるチャンスでもある。そういう繋がりを将来に生かす視点をもって、行動すべきと思う。

めろん 多言語でなく「やさしい日本語」で情報を伝える効果についてはどうお考えか？

楊 「やさしい日本語」は、平常時だったらよいが、災害時はその効果が限定されると思う。余震を知らない人に、余震を「やさしい日本語」で説明しても意味がない。また、中国語で情報提供すれば中国人は自分たちを承認してくれていると思う承認効果があるが、「やさしい日本語」ではそれはない。

多言語と言っても全ての言語でなく、箕面市のように主要6言語と「やさしい日本語」の組み合わせでも、外国人市民に配慮している避難所だという承認効果は十分ある。もしそれ以外の言語しか分からない人がいたら、個別の相談対応が必要。ポケットなどの多言語ITツールも柔軟に使えばよい。そういう姿勢を示すことが重要。まわりの外国人市民で協力できる人に協力してもらうことも大事と思う。(後編に続く)

(インタビュー参加者: 井嶋、岩城、荻野、執筆: 荻野)

(註)楊さんは2020年6月に「感染症蔓延期における災害時の外国人対応」についてレポートをまとめているので、ぜひこちらをご覧ください。

http://www.dri.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/sp_report_vol4.pdf

箕面市の

東と西で新しい日本語教室がスタート!

曜日	火	水	木	金	土	日
午前	ささゆり 10:00-12:00 MAFGA	さんさんクラブ 第1・3週のみ 10:00-11:30 MAFGA	あかね 10:00-12:00 MAFGA	ひまわり 10:00-11:30 MAFGA	T.E.S. にほんご ①9:00-10:15 ②10:30-11:45 MAFGA	ひがし にほんご 10:00-11:30 東学セン
午後		せいなん にほんご 19:00-20:30 西南学セン		萱野にほんご 19:00-20:30 らいとぴあ 21		

☐ 太枠が新開設の教室

9月から新しく2つの日本語教室をたちあげる。ひとつは「せいなんにほんご」で、西南生涯学習センターで毎週水曜日19:00～20:30に行く。もうひとつは、「ひがしにほんご」で、東生涯学習センターで毎週日曜日10:00～11:30の実施となる。

今回の2つのクラスの開講は、箕面市内で拡大する就労している外国人市民のニーズに対応するためのものだ。現在実施している日本語教室は上の表のように平日の午前が多いのだが、この2年間で金曜夜の学習者が大きく増加した。箕面市内で暮らす外国人市民の背景をみても、就労や技能実習のビザを持って働いている人が急速に増えている。平日昼間の教室には参加しにくかったり、長時間働いていたり、単身で来日しているような人たちは、地域との接点を持つ機会も限られる。こうした人たちに、日本語学習の機会を提供し、気軽に立ち寄れる場をつくりたい。また、地域の人々と交流し、相互理解を図っていくことも目的としている。

今回、新たに開設する教室はボランティアによる1対1での学習をサポートする。職場の同僚とのやりとり、子どものことでの先生との会話、買い物で困らないようにしたい、仕事の書類を書けるようにしたい…など、学習者の必要とする日本語もさまざま。こうした声に耳を傾けながら「いっしょに言葉を学ぶ」というのが今回の教室のコンセプト。また、新しい試みとして各教室に、日本語教育の経験と知識を持った「日本語アドバイザー」を配置して、教え方や学び方について助言をしてもらう予定だ。

一緒に教室を作っていくくださるボランティアの存在も欠かせない。日本語教室のボランティアをするのは、経験がないので不安と思う方も多いただろう。しかし、特別な資格や経験よりも、大切なのは、学習者が求めていることに気づいて、寄り添う姿勢。時には「正しい日本語」よりも「使える日本語」が必要なこともある。10月に実施する「秋の多文化ボランティアセミナー」では、日本語学習支

援についての研修も行われる。新規ボランティア希望者はもとより、協会の他のボランティア活動をされている方もぜひ受講して、新しい教室作りに関わっていただきたい(詳細は下記)。

なによりも重要なのは外国人市民への呼びかけ。まだ協会につながっていない人たちにも届くよう、ご近所、職場、学校など、様々な場面でぜひ声かけをしてほしい。外国人市民に「自分の近くにそんな場所がある」ということを知ってもらいたい。知っていれば、必要なときに立ち寄ることができる。そのための声かけを、ぜひ皆さんにお願いしたい。質問があれば、気軽に事務局まで連絡を!(河合)

秋の多文化ボランティアセミナー

外国人市民を取り巻く状況や日々のボランティア活動で欠かせない視点などを学びます。

①9/5(土) 13:30～16:00

「コロナ禍での外国人市民～大阪ミナミでの支援活動から～」
講師：金光敏さん

(特非) コリア NGO センター事務局長)

②9/19(土) 14:00～17:00

「ボランティアの扉をあけて 自分再発見！」

講師：須貝昭子さん

(特非) 市民活動フォーラムみのお理事長)

★16:00～17:00 ボランティアグループによる個別説明会

③10/10(土) 14:00～16:00

「やってみよう! 対話型学習の実践～大阪府教育庁「きいて まねして はなして」を使っの日本語学習支援の試み～」

講師：安田乙世さん

(NPO法人おおさかこども多文化センター理事)

④10/17(土) 14:00～16:00

「地域日本語教室とボランティアの役割」

講師：澤田幸子さん

(一財) 海外産業人材育成協会日本語講師)

定 員：各回 40 名 (要申込)

場 所：講座室

参加費：一般 550 円 / 日 賛助会員 無料

保 育：あり。〆切：各日の7日前まで。定員 3 名
1歳6ヶ月以上就学前 (100 円 / 1 人)



「ロワーハットー最初の庭園都市」

デイビッド・マギル著 箕面市ハット市友好クラブ訳



本書は、箕面市の姉妹都市 ニュージーランド・ハット市の歴史本である。本書の原本は1991年、市政100周年記念にハット市市議会がD. McGill氏に依頼し、郷土資料を基に執筆された。230余ページの原本を箕面市ハット市友好クラブのメンバーが6年かけて翻訳し、出版にこぎつけた。あとがきでクラブ前会

長の佐藤徹氏が述べているように姉妹都市活動のプロジェクトとしては全国でも珍しいチャレンジであろう。(注:1989年にロワーハット、近隣自治体が合併し、ハット市となったが、今もロワーハットとも言われる。人口10万人)

19世紀前半までの植民地で先住民が多く残った唯一の国がニュージーランド。それ故、私はこの本を先住民マオリとパケハ (白人) の争いと和解の物語として読んだ。勿論、「最初の庭園都市」という観点でも読める。19世紀は庭園ぐらいいか楽しみのない時代。肥沃な土地であり、ロワーハットは庭園都市として名を馳せた。今は、ハット市は産業・研究・文化都市的に語られ、庭園都市ではあるが、それを売りとする時代は過ぎた。30年前の本故、その当時はまだその名残があったかもしれないが。

面白かった所をいくつか紹介したい。

●ロワーハットに入植が始まったのは1840年。ニュージーランド会社がマオリから土地を物々交換で入手し、粗い道なども作り、そこに入植者を送り込んだ。土地は銃、毛布、タバコなどと交換。これらを積んだ船にマオリの首長たちを乗せ、品物を見せながら、甲板から陸地を見て、ここからここまでと指で線を描き、購入する土地を決めた。この荒っぽさが後、争いの種となる。この会社は計画を立てて土地を宅地+農地として売ったデベロッパー。今は馴染みだがこれは180年前のことだ。

●今、コロナ禍の最中であるが、ハット市では1918年第一次大戦後、帰還兵帰国とともにスペイン風邪が流行。不可解な災難に翻弄されたが、劇場、ホテル、教会などを閉鎖。本人、家族が感染した場合は給料は全額支給で2週間の休暇が与えられたとある。全く今のコロナと同じことが100年前に行われていた。当時、大阪でもスペイン風邪は猛威を振るったがどう対処したのか?ハット市長はその対策が評価され、無投票で再選されたという。

●虫歯予防のために水道へのフッ素添加が賛否両論ある中、1957年市議会で決まる。主導したのは7人の子どもを持つ歯科医。のち彼は推されてしぶしぶ市長に。結局16年市長として活躍。実際に虫歯は減ったのだろうか。

●箕面と姉妹都市になる22年前、日本の現上皇が皇太子時代にハット市の地質研究所を訪問している。1973年5月。箕面市に皇室を迎えたことは?

まだまだあるが紙面の都合で終わりにする。

現在のハット市、箕面市は共に19世紀は農業が主体、20世紀に両者の道は大きく分かれた。ハットでは有能な政治家たちが次々、当時先端の自動車工場などの工業、映画スタジオなどのメディア産業、国立科学研究所等の研究機関などを導入、都市の美化も進め、またマオリ、身障者などの弱者救済、そしてマオリとの和解を進めた。その経緯は実にエキサイティング。一方箕面は郊外住宅地へと向かっていった。

この本は地域の関心事だけに特化した地方紙の世界。世界初の女性選挙権(1893年)、マオリ語の公用語認定 (1987年) などの国の出来事への市民の反応は全く触れられていない。市民の現実には日常に追われてそんなものだったかもしれないが。

総じて本書はよくある管理サイドからのお役所的「市の歴史」でないところが良さと思う。興味のある方は紐解いてほしい。少々読みづらいがそのうち面白くなる。comm cafe で閲覧、センターでも購入できる (2,000円)。(荻野)



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00 (胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日: 土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■<http://homepage2.nifty.com/ozawa-clinic/>

【住所】〒562-0023

箕面市栗生岡谷西 3-7-9 シャトー野間 1F

阪急バス停留所「宮の前」 スーパーマルヤス向い

■無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721



エスパーロ

能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の 多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912

(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

9月
September

comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

★朝カフェ … 9:30 ～ 11:30

★ランチタイム … 11:30 ～ 14:00

* 売り切れ次第終了します *

★午後カフェ … 14:00 ～ 17:00

★世界の朝ごはん (ドリンク付 660 円)

… 10:00 ～ 13:00 * ランチはありません

日・祝日

★ランチセット (ドリンク付 510 円)

… 9:30 ～ 15:00 * ランチはありません

ランチは 880 円 (税込) です。

* ランチタイムのみプラス 100 円でコーヒー・紅茶・ジュース・季節のドリンクが付きまします。

●ご予約 (comm cafe 直通) 072-734-6255

☒ … スナック or スウィーツの日 ☑ … カフェで開催するイベント

各種イベントの詳細は「めろん」P6・7をご覧ください。

comm cafe からのお知らせ

★平日もモーニングははじめました! 9:30am ～ 11:00am L.O.

◆トーストセット 510 円◆ 手作り食パン、ブルガリアのアプリコットジャム、ギリシャヨーグルト、NZ 産バター、ドリンク (コーヒー、紅茶、ジュースのいずれか) つき

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
	1 コブさん 《タイ》	2 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	3 ティさん 《ベトナム》	4 張さん 《中国》	5 アブドウさん 《セネガル》	6 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00 ☑ エーゲ海からの生の声 14:00 ～ 15:30
7 休館日	8 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	9 ノックさん 《タイ》	10 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	11 ズイアさん 《ニュージーランド》	12 ティさん 《ベトナム》	13 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00 ～ 13:00
14 休館日	15 協会主催事業のため、 ランチはお休みです。 ★カフェをご利用できる 時間 9:30 ～ 14:00	16 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック ☑ シカモサロン 10:00 ～ 11:00	17 トウエットさん 《ベトナム》	18 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	19 ジェニーさん 《アルメニア》	20 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ～ 13:00 ☑ エーゲ海からの生の声 14:00 ～ 15:30
21 [祝日] スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	22 スランチセット (9:30 ～ 15:00) [祝日] ☒ MAFGA スナック	23 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	24 トウエットさん 《ベトナム》	25 洪さん 《コリア》	26 張さん 《中国》	27 スランチセット (9:30 ～ 15:00) 世界の朝ごはん 《ペラルーシ》 10:00 ～ 13:00
28 休館日	29 ノックさん 《タイ》	30 スランチセット (9:30 ～ 15:00) ☒ MAFGA スナック	◆「箕面お買い物割引券」使えます! (1,000 円以上のお支払のみ) ◆ランチのテイクアウト (お弁当) は 880 円 (税込み) で、 ご用意します。			

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。https://www.facebook.com/mafgachallengecafe



国際交流協会(MAFGA)からのお知らせ

下記についての問い合わせ・申し込みは(公財)箕面市国際交流協会まで

※開催場所：箕面市立多文化交流センター

電話：072-727-6912 FAX：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

定例イベント	9/12 (土) 13:00 ~ 14:00	NZ ハット市とのスカイプ交流 【テーマ】 地場産業・地場企業について	場所：講座室 A・B 参加費：無料（予約不要）
	9/16 (水) 10:00 ~ 11:00	シカモ・サロン ～世界のことばと文化をめぐる～ 【話し手】タナヤ・ムカルジー（インド・ベンガル語） 『イソップ寓話』を、ベンガル語で読む	定員：10 名程度（申込み不要） 場所：comm cafe 参加費：500 円（お茶菓子付き）
	9/19 (土) 18:00 ~ 20:00	みのお cinema 上映会 毎月 1 本、視点を豊かにする映画を上映。 【上映作品】『グリーン・ライ～エコの嘘～』	定員：10 名（先着順） 場所：ミーティング室 参加費：500 円（賛助会員）800 円（一般） 申込み：電話、窓口、メールにて
	9/20 (日) 14:00 ~ 15:30	Sunday Book Review 英語の原書を一緒に読みませんか？ “The Remains of the Day”（日の名残り） Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ 著	場所：ボランティア活動室 参加費：ドリンク・スナック代（200 円～） 申込み：初めて参加する場合は、 資料の準備のため要事前申込み
意見交換会	9/9 (水) 13:30 ~ 15:00	箕面市立多文化交流センターの 運営に関する意見交換会 箕面市から指定管理の委託を受けている「多文化交流センター」の運営について、利用者の方たちと意見交換を行います。お気軽にご参加ください。	対象：センター利用者の方ならどなたでも 定員：20 名（先着順） 場所：講座室 申込み：要 9/2(水)〆切
コンサート	9/26 (土) 16:00 ~ 17:00	Persian Concert ペルシャンコンサート～悠久の世界への誘い～ サントウールとトンバクの音色と、 優雅なペルシャンダンスが、悠久の世界へ誘う。 ダンス：Salehi Mehnoush・Date Ayako Naghavi Nooshin・Yuka Okuda 演奏：サントウール 内海恵・斉藤つきみ トンバク 四郎丸喜代・川合清裕	対象：どなたでも、特にペルシャ・イランの音楽や踊りなどの文化に興味のある方 定員：30 名（先着順） 場所：講座室 参加費：一般 3,300 円 賛助会員・大学生 2,200 円 申込み：電話、窓口、メールにて
イベント	10/3(土) 10:00 ~ 12:00	多文化体験・交流・学びクラブ「まふがっこ」 地域で暮らす外国人市民との交流で多様性を体験するプログラム テーマ：「タイの食文化について」 ◎講師：中川ナパラウィーさん（タイ出身）	対象：小学生 定員：10 名（先着順） 場所：会議室 参加費：無料 申込み：9/8（火）から 申込み：電話、FAX にて

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 38 年の歴史～

*バレエコース：教師歴 55 年の唐木幸子と、「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校教師養成学科」卒業、バレエ教授法取得証明書（Diploma）取得、教師歴 25 年の唐木智子が丁寧に指導致します。「バレエは芸術」として楽しんで長く続けられるように、また中高生にはクラブ活動や受験で断念する事のないよう配慮しています。幅広い年齢層（3 才～ 70 才位）で目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース：現在、大学教育にもなっている「姿勢科学」理論に基づいた姿勢調整をいたします。（姿勢科学療法）

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前（駅より 30M）
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社)日本バレエ協会会員・AODT 会員



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

ワークショップ

9/10(木)
18:30~20:00

らいとぴあ21 まなびカフェ
ふれて、感じて、アートでつながろう
アートで、自分を表現しませんか？
いろいろな作品や画材にふれたり、自分の感覚や気持ちを大切に作品を作ったり、アートによるコミュニケーション体験などを一緒に楽しみましょう。
美術が苦手と感じている方への入門編です！
【ゲスト】 竹綱珠衣さん (アーティスト)

場所：らいとぴあ21 1F 展示コーナー
(箕面市萱野 1-19-4)
定員：10名
参加費：500円
主催・問合せ：
萱野中央人権文化センター (らいとぴあ21)
☎072-722-7400

講演

9/12(土)
10:30~12:00

第56回講演会～満蒙シリーズ第5弾～
**満蒙開拓団の歴史が問いかけるもの
一 国策移民と引き上げの歴史研究から考える一**
◎講師 細谷 亨 (立命館大学経済学部准教授)

場所：みのおメイプルホール内 2階講義室
(箕面市箕面 5-11-23)
受講料：大人 1,500円 大学生以下 750円
主催・問合せ：みのお中国文化に親しむ会
TEL/FAX 072-727-6234
後援：箕面市国際交流協会

Web セミナー

9/13(日)
9:30~17:30

～自宅で体感！国内外の多様な教育のカタチ～
エデュコレ online FES
**フリースクール・オルタナティブスクール特集！
多様な学びの現在地、そしてこれから。**

当日のスケジュール：
※各回、多様なゲストが登壇！
①9:30～ プレ学習企画・再放送
②10:45～ 不登校とフリースクールの過去・現在・未来
③13:30～ オルタナティブスクールの卒業生と話そう 他
④16:00～ 多様な学びを保障するために必要なこと
～制度とシステムを考える～
⑤17:00～ おしゃべり交流 / 振り返り cafe



場所：オンライン会議システム zoom
参加費：
リアルタイム参加チケット 2,980円
あとで見るチケット 1,500円
主催・問合せ：Demo
contact@demo0.work

参加申込み・
イベント詳細⇒



9/11(金)21:00～無料プレイベント！
「フリースクール・オルタナティブスクールってなに？」
～当日までにいるはを学ぼう～
話題提供者：武田緑 (教育ファシリテーター)

映画祭

9/19(土)
～25(金)

【イスラーム映画祭 5 in 神戸】
「イスラーム」をテーマに、世界各地から 13 作品を上映。
ここでしか見ることのできない貴重な映画がそろそろ。
過去の映画祭からのアンコール上映もあり！
上映作品、タイムテーブルは⇒



場所：神戸・元町映画館
(神戸市中央区元町通 4-1-12)
参加費：一般 1,500円 3回券 3,900円
シニア、学生・障がい者割引等あり。
主催：イスラーム映画祭実行委員会
問合せ：元町映画館 ☎078-366-2636
★センターでチラシ配架中★

寄付募集

～
2021
5/31
まで

北摂地域の NPO・SB(ソーシャルビジネス) 応援のための
緊急補助金プロジェクト
新型コロナウイルスの感染拡大により、事業運営が厳しくなった、社会的事業を実施する市民公益活動団体を支援するための寄付募集。
北摂地域で活動する、①高齢者・介護 ②子ども・貧困分野を支援するの事業 / 団体が対象。

問合せ：(特非) 市民活動フォーラムみのお
(箕面市坊島 4-5-20)
みのお市民活動センター内
☎072-722-2666

詳細は特設サイト⇒

プロジェクト構成団体：
市民活動フォーラムみのお、とよなか ESD
ネットワーク、市民ネットすいた、他



coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI

南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう！
(立体的裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体的裁断、
デザイン等を修得
昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体的裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白島2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 絶賛募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを常時募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方も、そうでない方も、ぜひご参加ください!!

会議日程

読合せ 第2火曜日 15 時～ (次回は 9 月 8 日)
編集会議 第4土曜日 10 時～ (次回は 9 月 26 日)

作業日程

印刷 毎月最終火曜 13 時～ (次回は 9 月 29 日)
発送 毎月最終水曜 13 時 30 分～ (次回は 9 月 30 日)

場 所

箕面市立多文化交流センター2 階

編 集 後 記

人と人のつながりとはなんだろうか。このコロナ禍の間にインターネットの画面上で人とつながることは急速に進展した。最初のうちは物珍しさもあり、こんな形でもものごとは進めることができるのだ、とすこし興奮もした。効率最優先のビジネスの世界では、かなり本格的にかつ継続して取り入れられつつあるようだ。だが私はすぐに「いや、これはやはり仮の姿にすぎない、人と人がつながることがこれでいいとは思えない」と考えるようになった。

今、音楽の世界ではインターネットを介した合奏や合唱が大はやりだ。中にはそこそこうまくいっているように見えるものもある。そのうまくいっているという外見に感激する人たちも多く、現在の状況下ではそれももっともだとは思ふ。だがそのような演奏と、人間と人間が呼吸を合わせ、目を合わせて生み出してゆく演奏とは別物とを感じる。これは音楽に限らず、これまでごく当たり前に行われてきた人と人の様々なつながり方でも同じなのではないだろうか。対話をする際に、相手と同じ空気を吸い、相手の息づかいやちょっとした動作を感知することは、微かな、取るに足らないことではなく、実はけっこう大きな積極的な意味を持っていたのだ、ということがわかってきた。ひさしぶりに人と直接会って話ができると、そのことの濃密さに驚く。その内容にかかわらず今はただ会うということの濃密さで、心が安らぎ、バランスが回復するように思う。(鷺尾)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」
または赤ルート「小野原南」から西へ約 550m
- (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約 200m
※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30、51、55、56 58、59、66、79	① 小野原 ② 小野原西
	175、176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西 5 丁目
	70、78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、大橋亜由美、荻野克彦、島田希、崔聖子、平沢清美、結城なお、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、炭野洋子、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/